（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援エフ　　茶山教室Ｉ			
○保護者評価実施期間	2026年　1月　23日		～	2026年　1月　31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23	（回答者数）	4
○従業者評価実施期間	2026年　1月　23日		～	2026年　1月　31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　2月　2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	独自のカリキュラムとタブレットを行い、ワーキングメモリーの向上を目指している。	独自のタブレット学習ソフトを使用し、ワーキングメモリーの力を伸ばす学習を行っている。学習の記録や成果は、提供記録やタブレットデータとして保護者様に共有している。	
2	学習支援に力を入れ、宿題へのサポートを行うことで、保護者様のご負担を軽減できるよう支援している。	宿題への取り組みについて保護者様とやり取りを行う機会が多く、できる限りニーズに沿った学習支援を行ってる。 生徒さんの気分や体調、様子によって取り組めない場合もあるが、その際は状況を随時共有することで、保護者様の安心感につながるよう務めている。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が難しい。	生徒さんの特性や安全面への配慮に加え、コロナ以降の影響により行事や交流の機会が減少している。また、学習支援・生活支援を優先していることもあり、地域との交流が限られている。	生徒さんの特性や安全面に十分配慮しながら、少人数での外出活動や段階的な交流活動を取り入れることで、無理のない形で地域との関わりを広げていく。また、学習支援・生活支援と両立しながら、交流の機会の確保に努めていく。
2			
3			